

一般社団法人 神奈川ニュービジネス協議会

2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）事業計画書

(1) 事業計画

2021年度は全理事・監事の改選時期であり、また10月には神奈川県で JNB 新事業創出全国フォーラムが開催されることとなっている。既に昨年度実行委員会が発足、準備活動を開始してきて益々精度を上げての活動が必要となる。依然として先行き不透明なコロナ感染症の動向に注目しつつ、その対策にも万全を期すことが求められる。会場へのリアル集客と同時にオンライン併用するハイブリッド型大イベントとなるため、これまで経験のない運営となる。最大のポイントはやはり集客であり、開催までにさらなる会員数増加とともに、全ての会員による参加型イベントとして盛り上げていくことが重要である。

① 定例会日程

2021年度の定例会日程は以下のようなようであるがコロナ状況や全国大会等により変更も有り得る。

2021年5月17日、7月19日、9月13日、11月15日、2022年1月17日、3月14日

* 2021年10月6日全国大会

② 委員会活動計画

■ 戦略委員会（委員長 藤田理事）

- 定例会運営、会員増強（JNB 登録会員数）、外部機関・団体との連携を軸に当会の戦略立案を行う
- 会員内から IPO（株式公開）或いは同等の成長を目指す企業の輩出を支援する
- また他の各委員会からの要請を受けて具体的な活動展開の方向付けや委員会同士の連携を司る
- 全国大会実行委員会活動の支援、アドバイスを実施する

■ 広報委員会（委員長 楠本副会長）

目的：全国大会の衆知と KNBC の団体としての知名度の向上支援

- リーフレットの作成（増刷及び変更等）
- ウェブマーケティングの施策 Facebook の連動
- 媒体告知活動
- その他全国大会実行委員会活動としての広報支援を行う

■ 人材採用委員会（委員長 田中副会長、副委員長 今村理事）

人口減少・少子化を背景にますます企業の人材採用が難しくなる中、会員企業就職担当者との連携強化を図り、学内合同企業説明会への参加、採用担当者向けセミナー・懇親会など、新卒採用を支援する活動を行う

- 合同企業説明会参加枠獲得活動
- 業界研究セミナー（外国人留学生他）参加
- 人材採用セミナー及び懇親会開催
- KNBC新入社員教育（外部委託）
- 求人票発送

■ 若手経営者委員会（委員長 生田理事）

- 若手の次世代リーダー育成を目的とし、外部からの参加者も受け入れて先輩経営者の

講義や親睦の場を通じて「まともな会社」を作るため、経営に関する幅広い知識を得る活動を行う

- 外部に輪を拓げることによって新規会員の獲得も図り、JNB のメリットを活かして全国の若手経営者とも連携していく
- 女性起業家活躍推進委員会と協力し、全国大会において全国の若手、女性会員向けにサブセッションを企画・運営する
- 女性起業家活躍推進委員会（委員長 野田理事、副委員長 黒田さん）
「女性経営者が目指すべきこと」をテーマとし、KNBCの仲間と切磋琢磨することで、個々の更なる事業成長を目的とし活動する。
 - 女性起業家会員の増強(女性起業家活躍推進委員会の体制整備・副委員長を 3 名体制にする)
 - 全国大会における分科会の実施
 - リアル定例会の実施(回数は未定)
- ベテラン委員会（委員長 松本理事）
 - 全国大会へ向け、実行委員会の協賛担当、出展社担当に協力して上場企業や金融機関等への働きかけを行う
 - 積極的に会員増強を図り、特に県西地区へ重点的にアプローチする
 - 会員の各種相談に対応して適切な助言、支援を行う
- 全国大会実行委員会（委員長 遠藤理事、副委員長 野田理事、藤田理事、高久さん、幸田さん）
 - 第 17 回 JNB 新事業創出全国フォーラム in 神奈川(2021 年 10 月 6 日開催)
 - 大会テーマ: New Business Creator 集結！～ニューノーマル時代の経営を考える～
 - 全国大会初のパシフィコ横浜ノース & on-line (ハイブリッド方式での開催)大会の成功に向けて、事業全体の企画をし、各協議会、関連業者との折衝や必要な外部団体への協力を得るための働きかけを進める。KNBC 会員へも各種作業への積極的な参加を促し、全体の雰囲気盛り上げていく
- IT部会（部会長 服部さん）
 - KNBC 定例会等のハイブリッド配信を軌道に乗せる
 - 会員の IT 関連に対する相談窓口
 - IT 関連のセミナー実施(会員から要望の多いもの)
 - 「全国フォーラム in 神奈川」のサポート・支援

(2) 予算計画

2021年度収入予算として、一般会計は例年通り会員からの年会費を主とし、情報交換会はコロナ禍の影響も拭いきれず通常の約半分開催を見込んでいる。全国大会収入としては参加費、協賛金・出展費で1,500万円、中小機構、JNB からの補助金として600万円を計上する。また一般支出については例年並み、全国大会費用もほぼ収入及び前期繰越金で賄う予定である。

以上